

世界一いきたい科学広場 in 宗像 2016



りかどく
Let's 理科読「水の本」



日時	8月11日(木) 1回目 11:00 ~ 11:45 2回目 13:30 ~ 14:15
場所	宗像ユリックス図書館2階 調べ学習支援コーナー
参加者数	1回目:37人(子ども24人・大人13人) 2回目:22人(子ども15人・大人7人)

宗像市民図書館では、8月11日(木)に宗像ユリックスで開催された「世界一いきたい科学広場 in 宗像 2016」において、出展団体の一つであるNPO法人ガリレオ工房と協働で、理科読イベントを実施しました。「理科読(りかどく)」とは、「科学の本を読もう」「本を通して科学に親しもう」という趣旨の造語です。

子ども向けの科学読み物の本は、科学の基本を押さえながらわかりやすく丁寧に書かれているため、大人の科学入門書としてもおすすめです。また、科学の絵本も多く出版されています。理科読イベントでは、実験(科学あそび)にあわせて、その実験内容にちなんだ本の読み聞かせをするので、体験と本の内容が結びつき、科学現象への理解が深まり相乗効果が生まれます。図書館で行うのにふさわしいイベントと言えるでしょう。

理科読しよう!



テーマは「水の本」。まず、葉っぱをぬらして水の持つ特性を考えさせます。



うわぁ、水玉の上で紙の花が開いた!

では、実際に水の持つ特性を自分で確かめてみよう!



本には、どんなふうに書かれているかな?



「水」に関連する絵本の読み聞かせ。水に関する科学読み物はたくさんあります。



水について、もっと知りたくなってきた!

さらに本の紹介と読み聞かせ。体験と知識が融合し、一段と子どもたちの集中力が高まりました。



他の出展ブースのテーマに関連した本も集め、図書館で展示・貸出しました。



イベントホールの各ブースに、本のポップ(紹介カード)と、そのブースのテーマに関連した本のリストを掲示・配布して科学読み物の本の紹介をしました。